

6月議会で質問を致しました。

- 詳細は、宇和島市議会のホームページにてどうぞ。
- 発言者の名前や発言内容(単語等)で検索できます。

【1】宇和島市の抱える課題について

① 人口の課題をどう捉えるか

【笹山副市長】2005年8月の合併当時における宇和島市の人口は、92,000人弱。2015年4月には79,000人。平均すると毎年約1,100人人口が減っている。国立社会保障人口問題研究所の推計によると、2060年の人口は約35,000人で、大変厳しい予測。

【質問】その解決の策として「総合戦略」がつくられた。政策を組み合わせ、就職等で宇和島を離れる方々、いわゆる社会減をいかに少なくするか、そして、出生率を国が長期ビジョンとして掲げる1.8までいかに上げていくかという対策が練られているはずだが、実際に、この1.8を達成し、社会減をゼロにしても人口減はかなり危機的。宇和島市はどう予測しているか。

【笹山副市長】現状を正しく認識すると、先の35,000人という数字をどこまで食いとめることができるか非常に厳しい現実がある。そういう中で、まず、自然減に対しては、合計特殊出生率をできるだけ早い段階で1.9に上げたい。さらに、将来的には出生と死亡のバランスがとれる2.1にまで上げる目標を持つ。それに伴い、子育てに優しい宇和島づくりという具体的な施策に本年度から取り組む。社会的な増減についても、転入と転出の均衡を早い時期にとりたい。若年層の転出についてはやむを得ないところで、市外からの移住をどう進めていくかという取り組みを強化する。

② 財政的な課題をどうみているか

【質問】人口の減少の課題とともに、人口構成(特に、高齢化率が顕著に高いこと)を考える。また、社会の要請・市民の要望も変わって行く。宇和島ではその環境の変化にどう対応するか。生産年齢は少ない、高齢者の割合がふえるということは、福祉費等の経費が増大してくることになる。これらは財政的にはどのような影響があるのか。

【笹山副市長】いわゆる人口減少がもたらす財政上の最も大きなものは、地方交付税上の措置が減額になるのが一番大きな影響としてある。平成27年度の国勢調査では、22年と比較して約6,700人、国調人口が減少した。28年度はこれにより約5億円の交付税が減少となると推計している。

③ 公共施設の課題をどう捉えるか

質問【公共施設に対する要望の変化もあるが、施設の維持・更新について、どの部署で、どう分析しているか。

【笹山副市長】公共施設の再編という問題がある。平成26年4月、総務大臣から全ての自治体に対し、インフラ施設も含め、全ての公共施設の状況・更新費用の見込み、公共施設再編成を含めた基本的な方向性を定める公共施設等総合管理計画の策定要請がなされた。これを受け、当市においても管理計画策定の前提となる公共施設の台帳整備を行っている。並行して、管理計画策定のための委員会を設置し、その下に幾つかの部門別の作業部会を設置して検討を進める。今年度中を目途に平成29年度からの10年間、あるいはそれ以上の期間の管理計画を策定したい。

【質問】現在、日本の市区町村が持っている社会資本(公共施設等も)のうちどれだけ今後も持ち続けられるか志村式計算法で試算すると、宇和島では50%以上削減をしなければならないとされている。そもそも、自治体の行う社会資本整備のための借金は、その社会資本の寿命より短い期間でお金を返すことになっている。例えば50年で償却する構造物がある、50年でずっと償却をしていく償却費というのが民間企業では税法上認められていて、それを内部留保するなり、ほかに投資するなりしても、経費として積み上げることができるが、自治体はどうするかというと、借金をずっとそれより短いスパンで返し、後の期間その社会資本を更新するために準備をするという発想はあるのか。

【笹山副市長】従来の自治体運営・通常考え方の中にはない。

④ 公共施設再編成をどう進めるか

【質問】松山では1,400の施設を挙げて、現有の施設保有率を最適化するために20%以上削減が必要であるという答申(中間答申)が出ている。中身についても見直しが必要で、まちづくりの考え方を大きく変えなければならないとしている。また、コンパクトシティ(現状のサービスを提供し続けるためにはある程度近いところに住民が住み替えるまちづくり)という発想とも連動すると答申している。松山でさえ20%の削減が必要と考えれば、宇和島は多分に50%に近いことも理解できる。つまり、今あるものの半分は更新できない。更新したら国も地方も財政的にパンクするといえる。では、どうするか。

【2】宇和島市の経営・財政状況の見える化について(公会計改革の視点から)

① 複式簿記化による貸借対照表で見てくることは何か

【質問】社会資本の見直しについて、固定資産台帳ができたら、その資産それぞれ、有効性・有用性を評価してほしい。

② 施設別サービスコストは示されるか

【質問】宇和島市では、施設別のサービスコストというのが意識されているか。

【財政課長】施設別等のより細かな単位での分析を、減価償却費や引当金も含めてフルコストで分析したい場合、減価償却費については固定資産台帳の整備により自動的に算出されるが、その他の経費については毎年度の支出データから自動的に各施設のコストを算出できるわけではない。

公共施設等の総合管理計画においても固定資産の基礎データの入力完了した後、施設の適正配置の検討を行うために、追加データとしてコストや利用人員、職員数、収入、耐震化の状況などのデータを入れて、施設ごとのコスト比較や利用者1人当たりのコストを算出する。けれども、減価償却以外のコストについては別に把握をして固定資産台帳のほうに入力をする必要がある。また、入力するコストデータの内容範囲については、他団体との比較が容易になるよう最も一般的な方法で行いたい。

【質問】採算の乗らないサービスはやめればよいなどとは思っていない。採算が乗らないからこそ、行政が行わなければならないものも多い。けれども、市民1人当たりのコストであったり、1日当たりのコストであったり、利用者1人当たりのコスト。図書館を例にとれば、来館者1人当たりのコストとか、1冊の本を貸し出すためのコストがどれだけかかっているか、こういう実態を知ることが、施設更新時に規模の見直しにもつながるし、利用者を増やすために努力する発想にもつながる。経営的な観点をぜひ持ってほしい。また、行政サービスの値札事業(全国61の市が、例えば図書館の本の貸し出し1冊あたりのコストを比較するような情報交流)に参加する自治体もある。宇和島も、ぜひ他市との比較をし、コスト意識を高めてほしい。

③ 事務事業評価に、発生主義のコスト情報を加えてみたか(行政評価との関係について)

【質問】公会計制度改革についての研究会等で政府委員を勤める習志野市の宮澤さんの分析では、行政の事務・事業を評価する際の現行のコスト計算で評価しているのは全体の5%だと言われている。つまり、95%の費用を考えないで今の事務事業評価というのは行われている。すなわち、予算に大いに関係すると思うのだが、予算に関係ないというのか。

【財政課長】現在、事務事業評価を用いて予算査定を行っていない。

【質問】予算査定を行っているかどうかでない。予算に反映させているかどうかだ。費用の5%しか見ないで事務や事業の効率性とか効果を評価するのと、実際に近いコストを見て事務や事業の評価をするのとで違わないかということだ。

【笹山副市長】論理的には議員の主張どおり。ただ、私どもが現在進めている事務事業評価については、その事務事業が市民、あるいは市にとって必要不可欠なものであるかないか、あるいは事務事業の執行の仕方にもっと工夫の余地があるのかなのか、そういった観点からとりあえず現在の事務事業評価は進めている。

【質問】有用性はわかっても、効率をはかるためにはコストを見なければならない。費用を考慮せず効果を見て意味があるだろうか。

【笹山副市長】論理的には、そのとおりだ。しかしながら、どこに目をつけて事務事業評価を行うかということ、事務を再構築する必要性という観点で行っており、厳密な意味のコスト意識を持ち、それを直接的に反映させていないということだ。

【質問】すべてのサービス提供にはコストがかかるわけで、そのお金を使ってどういうサービスを行っていくかという感覚を持ってほしい。その意識がなければ、行政がやり続けるべきなのか、民間にさせるのか、あるいは国がするのか、愛媛県がするのか、市がするのかというような事業仕分けはできない。市が提供すると費用はこれだけだけれども、民間が提供すると費用はこれだけ、国が提供すると費用はこれだけというのは必ずある。だから、この観点は絶対失ってほしくない。

④ 使用料・手数料の見直しにどう活かされるか

⑤ 債権管理体制の強化について

【3】宇和島南中等教育学校の在り方について

① 公立の中等教育学校の在り方についてどう分析されているか

② 効果の検証の結果はでているか

③ 周辺環境の変化にはどう対応するべきか

④ 対象圏域の生徒数減少への対応は具体的にどうするのか

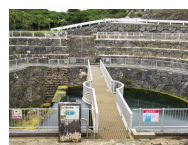
⑤ 宇和島市民の生徒の間で、南中生かその他の中学の生徒かで、市としての待遇に差はあるか



5月15日クルーズ船見送り



5月17日宮古伊良部大橋視察



5月17日宮古地下ダム視察



5月19日名護アグリパーク視察2



5月19日名護アグリパーク視察3



5月28日みんなの看板プロジェクト



6月5日ハワイアンフェス



6月5日山本順三氏励ます会



7月3日清掃奉仕と書様



7月6日東高生活体験発表大会



7月24日親牛鬼パレード



7月26日防災セミナー



7月31日壺校区朝顔展



7月商店街ラジオ体操